

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
東京オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業	◆オランダ連携事業 オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)とのオンライン会議にて、区のパラスポーツ推進についての報告や、今後の連携についての意見交換を行いました。また、連携事業の総括として第7弾となる広報番組を制作し、J:COM足立にて放映しました。 ■3自治体合同ミーティング 【実施日】3月22日 【参加団体】NOC*NSF、日本スポーツ振興センター(JSC)、足立区、江戸川区、西東京市 ■広報番組制作 【放映期間】1月29日～2月6日 ※放映後も動画であだちにて公開中
	◆聖火リレートーチ展 オリンピック・パラリンピックの聖火トーチや大会で実際に使用されたバスケットボール、サッカーボールなどを区内各所で展示しました。 【実施日・会場】 1月22日～29日・JR北千住駅(コロナ禍で中止) 1月31日～2月11日・ギャラクシティ 2月13日・総合スポーツセンター
	◆東京2020オリンピック・パラリンピックの記録(アーカイブ)の配布 東京2020大会に向けて区が取り組んできたこと、そして未来に向けてレガシーとして残すべきこと。東京2020大会の記憶を未来につなげるアーカイブを作成し配布しました。 【配布数】10,000部 【配布先】区役所アトリウム、地域学習センター、体育施設、図書館、区民事務所、住区センター、小・中学校等
学童保育室運営事業	学童保育室整備計画の見直し及び令和4年4月に開設する学童保育室の開設準備を行いました。 ◆区内33地区における学童保育室ニーズの最新動向を踏まえ「足立区学童保育室整備計画」を令和3年度版として見直しました。 ◆令和4年4月開設に向けて、舎人・入谷地区に誘致した民設学童保育室1室の開設準備を進めました。 ◆令和4年4月開設に向けて、指定管理学童保育室として、綾瀬小学校内及び江北小学校内にそれぞれ1室新設し、開設準備を進めました。
子育てサロン事業	◆12月から月1回、拠点型子育てサロンの5か所で生後4か月までのお子さんと保護者の方専用の時間を設定する「あかちゃんず」を試行実施しました。12月は15組、1月は9組の参加でした(2月、3月はまん延防止措置のため中止)。 ◆3月19日天空劇場で、東京江北、足立ロータリークラブ共催の「絵本の世界へようこそはなさかじいさん」のイベントを実施しました。定員を収容定員の半数に設定し、53組153人の参加がありました。

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
こども未来創造館事業	7月に設置したストリートピアノを活用した「ストピでハッピーハロウィーン」やこどもたちがプロから学べる本格的な職業体験「こどもおしごとらんど」などを実施し、多くの子どもたちに体験と学びの場を提供しました。1月のジャパンフェスタは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、ピアノ演奏など一部のイベントはオンライン配信にて実施しました。 ◆利用者 309,281人 (10月～3月 ※西新井文化ホール分(30,530人)含む)
文化芸術推進事業 ※評価対象外	【文化分野】 ◆大学連携事業委託 文化芸術への関心を高めるため、東京藝術大学連携事業を実施しました。 ・ 10月17日 弦楽四重奏によるコンサート実施(参加者77人) ・ 11月3日 中世の日本と西洋の代表的な音楽をインターネットで配信 ◆伝統行事「じんがんなわ」の映像化 伝統行事の保存や継承のため、東京都の無形民俗文化財に指定された「じんがんなわ」のPR動画を作成しました。 ◆日本文化再発見事業 「あだちエンターテイメントチャレンジャー支援事業」登録団体でもある「和太鼓グループ彩-sai-」による公演をシアター1010の劇場で上演し、伝統芸能から新しい芸術として受け継がれる文化を鑑賞できる機会を提供しました。 来場者 315人
読書活動推進事業 ※評価対象外	【読書分野】 ◆電子図書館事業 図書館以外の身近な場所でも本に触れられるサービスを実施しました。利用登録者数 4,206人(3月31日現在) 累計貸出冊数 13,680冊(3月31日現在) ◆調べ学習用図書の配送 区内小・中学校へ調べ学習用図書の配送サービスを実施しました。 配送回数(10月から3月) 小学校 26校 82回 2,899冊 中学校 3校 6回 280冊 ◆あだちはじめてえほん事業 子どもの読書習慣の定着、将来の社会性と学力向上に貢献するため、乳幼児健診の機会を捉え絵本を配付し、親子で絵本に親しむきっかけを提供しました。 ・ 3～4か月児健診時:健診受診時に絵本を一冊配付 配付冊数 1,473冊(10月から3月) ・ 1歳6か月児健診時:健診通知に引換券を同封 し区内図書館と子育てサロン・児童館で絵本と引換え 配付冊数 1,422冊(10月から3月)
運動・スポーツ推進事業 ※評価対象外	【スポーツ分野】 新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベントが中止や延期となるなか、スポーツを通じた共生社会実現のため、下記事業を開催しました。 ◆パラスポーツ教室 障がいの有無に関わらず参加できるパラスポーツ教室等を、スペシャルクライフコート等で実施しました。 下半期 ・実施回数 28回 ・体験人数 387人(うち障がい者162人)

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
文化・読書・スポーツ活動協創推進事業【3分野連携】 ※評価対象外	【分野連携】 ◆3分野連携事業（「ちよいスポ」「ちよいカル」「ちよい読み」） 主に20～40歳代の子育て世代を対象として、「読書×スポーツ」「読書×文化」「文化×スポーツ」といった分野間の連携により、各々の施設利用者が異なる分野への関心・行動につながる働きかけを行うことで、新たな分野に親しむ人を増やす取組を実施しました。 実施内容 おはなし会の時間に親子でベビーヨガやバランスボールの体験、図書館前スペースでの写真講座や工作・アロマ体験 など 実施期間 令和3年10月～12月 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、講座開始時期を8月から10月に延期。事業周知のみ8月から開始。 実施場所 15か所（生涯学習センター、地域学習センター13か所、江南コミュニティ図書館） 実施回数 752回 参加人数 5,954人
ひとり親家庭総合支援事業 【ひとり親家庭交流事業（サロン豆の木）】	ひとり親家庭の方同士が、仕事、生活、子育て等の悩みや相談、情報交換、交流をする場です。定期的開催し、様々なイベントや講座を行いました。 【サロン豆の木】 ◆開催期間 10月～3月、第2・3・4土曜日 ◆開催場所 区内地域学習センター等 （新型コロナウイルスの影響により、4回中止） ◆実施回数 14回 ◆参加世帯数 延べ72世帯153人 【体験型「スペシャルサロン豆の木」】 (1) 芋ほり体験 ◆開催日 10月31日 ◆参加世帯数 34世帯82人 (2) ギャラクシティプラネタリウム（チケット提供） ◆開催期間 12月～1月 ◆参加世帯数 34世帯87人
ひとり親家庭総合支援事業 【養育費確保支援事業】	養育費に関する情報提供と養育費の取り決めや確保に関する費用補助を行いました。 ◆問い合わせ・相談件数 延べ127件 ◆補助金申請件数 18件
あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)の推進事業	保健師等による妊婦全数面接をはじめとし、産後の赤ちゃん訪問、3～4か月児健診、1歳時アンケート等により、支援が必要な妊産婦及び家庭への適切なケアを行い、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施しました。 また、「こども商品券」の配付による育児環境整備の支援にも取り組みました。 ◆スマイルママ面接（妊婦全数面接） 令和3年度届出者数に対する面接実施及びこども商品券配付人数 2,237人 ◆特に指導・支援が必要と判断した妊婦に対し、 保健師が訪問した人数 161人 ◆こんにちは赤ちゃん訪問 訪問実施人数 延べ2,069人 ◆ファーストバースデーサポート（1歳時アンケート） こども商品券配付人数 1,896人

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
ユニバーサルデザイン推進事業 【評価対象外】	◆「足立区ユニバーサルデザイン推進計画(2019年度～2025年度)」に基づき、令和2年度に実施した個別施策について、自己評価及び評価部会による評価を行いました。 ◆令和3年度も各担当部署で上記計画の年度別計画に基づき、個別施策を実施しました。
教育政策管理事務 【小学校図書館支援員派遣】	民間事業者の専門的なノウハウを活用し、学校図書館の環境整備、読書活動の推進など、教員と連携しながら、学校図書館の活用充実にに向けた支援を行いました。 ◆実施校 小学校全69校 ◆支援回数 週2回 6時間/1回
教育政策管理事務 【中学校図書館支援員の配置】	中学校全35校の図書館に学校図書館支援員を各校1人配置し、図書の整理をはじめ、学校図書館だよりの発行、調べ学習のサポートなどにより、生徒の学習や読書活動の充実にに向けた環境づくりに取り組みました。 ◆中学校 図書館支援員 35人
教育政策管理事務 【体育館等利用LTE端末通信料】	体育館や校庭など学校LANの無い場所でLTEタブレット端末を使ってインターネットを利用した授業や行事に活用するための通信費を計上し、全小中学校の教室以外の場所でも柔軟にタブレット端末を利用できる環境を整備しました。 ◆全校各2台
教育政策管理事務 【ICT機器修繕費】	1人1台のタブレット端末整備に伴い、故障や破損の増加に対応するため、ICT機器の修繕経費を拡充しました。 ◆66校 117件(令和4年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【多層指導モデル(MIM)】	学習の基礎となる「流暢な読み」の獲得を目ざし、全校小学1年生各クラスの学習や活動において、異なる学力層の子どもに対応した指導・支援を行うとともに、教員を対象にMIM研修会を2回実施しました。 ◆参加者 第3回76人・第4回79人 ◆実施方法 第3回集合・第4回オンデマンド ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、第4回はオンデマンド開催とした。
学力向上対策推進事業 【そだち指導員配置】	小学校全校に指導員を配置し、3・4年生を対象に別教室で個別指導(国語・算数)を行い、つまずきの早期解消を図りました。 ◆そだち指導員 小学校 75人(令和4年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【数学チャレンジ講座】	中学1・2年生を対象に数学のつまずきの解消を目的とした講座を実施し、学力の定着と学習意欲の向上に役立てました。 ◆参加登録者 778人 ◆全5回(100分/1回)実施 ◆実施校 中学校31校

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
学力向上対策推進事業 【足立はばたき塾】	家庭の事情などにより塾等の学習機会が少ないが、成績上位で学習意欲が高く、将来の夢の実現に向けて難関高校等への進学を目指す、中学3年生を対象にした、難関高校等受験対策講座を民間教育事業者を活用して実施しました。 ◆参加生徒数 81人 ◆定期講座(土曜日実施) 18回を予定通り実施 ◆集中講座(冬季休業期間) 5回を予定通り実施
学力向上対策推進事業 【学力定着指導員配置】	学校経営や児童・生徒の学力向上等教育政策課題の解決に向けた取り組みに関して指導、助言を行いました。 ◆学力定着指導員 10人(令和4年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【教科指導専門員配置】	児童・生徒の基礎学力定着に不可欠である教員の指導力向上を目的として、経験豊富で教科指導に秀でた専門員が小・中学校を巡回し、指導・助言を行いました。 ◆教科指導専門員 小学校46人 中学校32人(令和4年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【小中連携事業】	小学校から中学校への円滑な移行と児童・生徒の学力定着のために、各中学校区を単位とした連携校が授業研究や交流活動などに取り組みしました。 ◆実施校 全小・中学校 (1)外部講師招聘校数 22校(104校中) (2)外部講師招聘グループ数 18グループ(35グループ中) (3)外部講師招聘活動延べ回数 38回
学力向上対策推進事業 【英語チャレンジ講座】	中学1年生前期で英語への苦手意識が生じ始めた生徒のつまずきと苦手意識の早期解消を目的として、民間教育事業者を活用した、日本人・外国人講師による補習を行いました。 ◆参加登録者 445人 ◆全8回:各校日本人レッスン5回、外国人レッスン3回(50分×2コマ=100分/1回)実施 ◆実施校数 中学校全35校
学力向上対策推進事業 【英語マスター講座】	一定レベル以上の英語力があり、かつ英語を学ぶことへの強い興味・関心と、自らの英語力向上への高い意欲を有する中学生を対象に、オンライン英会話を活用して英語4技能(「聞く・読む・話す・書く」力)を伸ばすための委託事業を実施しました。 また、講座終了後には力試しを目的として福島県のブリティッシュヒルズで2泊3日の国内プチ留学体験を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ブリティッシュヒルズから講師を招聘し、出張型講座を区内にて実施しました。 ◆講座参加生徒 85人 (ブリティッシュヒルズ出張型講座参加者 45人) ◆月・水・金曜日の3コースを設定 ◆月曜・水曜コースは21回、金曜コースは22回実施
学力向上対策推進事業 【英語4技能調査実施】	新学習指導要領において、バランスよく育成することが求められる英語4技能(聞く・読む・話す・書く)を適切に評価するため、4技能調査を実施し、英語の力を身に付けるための授業改善に役立てました。 ◆実施校 区内中学校35校 ◆受検者 中学2年生3,589人

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
学力向上対策推進事業 【英語教材作成支援システム】	教員が質の高い教材を効率的に作成できるように、NHK「基礎英語」「ラジオ英会話」で使用された対話文や音声を利用して教材を作成するシステムを導入し、授業等で活用しました。 ◆実施校 中学校全35校
学力向上対策推進事業 【大学連携事業】	教員の指導力向上および児童・生徒の英語力向上とその英語力の発揮に向け、明海大学との協定に基づく連携事業を展開しました。 ◆大学教授による中学校授業改善支援 ◆大学教授による英語教育アドバイザーの育成支援 ◆大学教授による若手教員の授業研究会における指導・講評 ◆大学教授による区民対象英会話講座 ◆留学生が中学校を訪問し、中学生と交流する交流学習事業の実施(2校) ◆小学生が大学を訪問し留学生たちと交流する明海大学あけみ英語村(2校) ◆日本語指導のための教員研修 ◆英語マスター講座修了生を対象としたスピーチ・プレゼンコンテスト(参加者6人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、一部オンラインで実施した。
学校教育指導事務／学校の指導事務 【キャリアパスポート】	自分の夢や目標を意識し、自己肯定感を高めるきっかけとなることを目的として、小学5年生から中学3年生のキャリア教育で使用してきたワークブック「夢デザインシート」を、小・中学校の全ての児童生徒が活用する「キャリア・パスポート」に改訂し、全校で活用しました。令和4年1月には文部科学大臣表彰を受賞しました。 ◆対象 区立小・中学校 全校児童・生徒
学校の指導事務【授業目的公衆送信補償金制度】	授業目的公衆送信補償金制度の実施に伴い、ICTを活用した教育を推進するため、その費用を支出しました。 ◆対象 区立小・中学校 全校児童・生徒
学校の指導事務【日本語適応指導講師】	外国籍等児童・生徒への対応のため、主に小学校へ日本語適応指導講師を派遣し、日本語の習得を支援しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、海外からの転入者減少等の要因により、指導が必要な児童・生徒はコロナ禍前よりも少なくなっています。 ◆令和3年度指導実績 小学校 39校 81人 中学校 5校 5人(令和4年3月31日現在)
学校の指導事務【あだち日本語学習ルーム】	外国籍等の中学生への対応のため、あだち日本語学習ルーム(通級)において、日本語の習得を支援しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、海外からの転入者減少等の要因により、指導が必要な児童・生徒はコロナ禍前よりも少なくなっています。 ◆令和3年度指導実績 中学校14校 16人(令和4年3月31日現在)
教育課題解決への取組事務 【よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査事業】	よりよい学校生活と友達づくりのために、学級集団の状況に関する児童・生徒への実態調査を行い、調査結果から児童・生徒の潜在的な不満・不安を把握し、安定した学校経営を計画的に行うよう努めました。 ◆実施校 全区立小中学校 ◆実施対象 小学3年生から中学3年生まで
学校の指導事務【弁護士委託費用】	主に学校で発生した事故等の対応のため、弁護士委任契約を締結し、調停・訴訟対応等を行いました。

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
学校の指導事務 【副校長補佐配置】	副校長の勤務負担軽減を図るため、希望する小・中学校を対象に副校長補佐を配置し、服務管理や調査対応等の業務を支援しました。 ◆副校長補佐 小学校65校 中学校22校 計87人（令和4年3月31日現在）
学校の指導事務 【スクール・サポート・スタッフ配置】	足立区立小・中学校における教員の勤務負担軽減を図るため、希望する小・中学校を対象にスクール・サポート・スタッフを配置し、児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備しました。 ◆スクール・サポート・スタッフ 小学校33校 中学校1校 計34人（令和4年3月31日現在）
育英資金事業	育英資金緊急対策（新型コロナウイルス感染症関連）で「返済猶予」「特別貸付」「免除条件付緊急貸付」の募集を行い、利用者を決定しました（募集期：4月1日から12月15日まで）。 ◆返済猶予 2人 ◆特別貸付 10人 ◆免除条件付緊急貸付 10人 育英資金貸付及び奨学金返済支援助成の募集を行いました。 育英資金貸付 ◆応募人数 37人 ◆採用人数 34人 奨学金返済支援助成 ◆応募人数 高校分 7人 大学分 64人 ◆採用人数 高校分 7人 大学分 64人 就学援助の準要保護世帯として認定されており、高等学校等へ進学が決定している中学3年生の保護者へ、高等学校等入学準備助成金を支給しました。 ◆支給件数 1,365件
小・中学校給食業務運営事業【おいしい給食の推進】	「わが家自慢の和食を給食に！」をテーマとし、給食メニューコンクールを実施しました。 ◆応募総数 小学校 4,222作品 中学校 2,992作品 計 7,214作品 児童・生徒の食に関する意識や、食べる意欲の向上を図るため、小中学校全校で普段より長い給食時間の確保や食育に取り組む「もりもり給食ウィーク」を実施しました。 ◆実施期間 1月24日～28日
小・中学校給食業務運営事業【多子世帯への学校給食費補助】	新たな学校給食費の負担軽減策として、足立区立小・中学校に3人以上通う世帯を対象に、第2子を半額補助、第3子以降を全額補助することにより、多子世帯の負担軽減に努めました。 ◆令和3年度認定者数 1,895人（3月末現在）

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
自然教室事業	小学5・6年生と中学2年生を対象に、自然や地域文化に親しみ、様々な体験をする自然教室を1泊2日で実施しました。 ◆鋸南自然教室(小学5年生) 69校実施 ◆日光自然教室(小学6年生) 69校実施 ◆魚沼自然教室(中学2年生) 35校実施 昨年度、緊急事態宣言の延長により一日自然体験教室を実施できなかった学校を対象に、一日自然体験教室を実施しました。 ◆一日自然体験教室(小学6年生) 8校実施
放課後子ども教室推進事業	地域の方々の協力により、小学校施設(校庭や教室など)を活用し、児童の放課後の安全安心な居場所を提供しました。 ◆実施校 小学校68校(令和3年度未再開1校あり) ◆実施延べ日数 3,119日 ◆実施延べ人数 102,403人 ※新型コロナウイルス感染症拡大によるまん延防止等重点措置の発出(令和4年1月21日)に伴い、令和4年3月現在、51校(令和3年度内、未再開1校は除く)の放課後子ども教室は休止しました。
幼児教育振興事業	◆幼児教育研修 教育・保育の質の向上のため、区内保育従事者、小学校教員を対象とした研修(一部オンデマンド)を実施しました。 【実施回数】 52回 【参加者延べ】 2,734人(3月31日現在) ◆幼保小連携活動 子どもたちの円滑な小学校への就学及び教員・保育者間の相互理解に向けて、就学前施設と小学校間での職員交流研修を実施しました。 また、映像等を介して子どもたちの交流活動に取り組みました。(新型コロナウイルス感染症の影響で、体験給食は中止) 教員・保育者向けの接続期教育研修については、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンデマンド配信にて実施しました。 ◆家庭への啓発活動 令和2年度の足立っ子すくすくガイドの改訂に伴い足立っ子すくすくガイドリーフレットを改訂し、あだち幼保小接続期カリキュラム家庭版と合わせて就学前施設に在籍する新年度5歳児の保護者に配付しました。
保育士確保・定着対策事業	◆保育士等住居借上げ支援事業補助金 保育事業者が保育士等の職員用宿舎として住居を借上げた場合に、借上げに要した費用の一部を補助しました。(722人) ◆保育士奨学金返済支援事業補助金 区内の保育施設等に勤務する常勤保育士を対象に、保育士養成施設等の就学・修業時に利用した奨学金について、返済に要した費用の一部(補助限度額10万円/年度)を補助しました。(223人) ◆保育従事者永年勤続褒賞 成績優秀な永年勤続者(保育士5年・10年、家庭的保育者10年・20年)に対し褒賞を行い、保育従事者の意欲向上、保育事業に対する社会的評価の向上に努めました。 【褒賞対象者】 保育士 5年73人 10年26人 家庭的保育者 10年14人 20年 5人 ※新型コロナウイルス感染症の影響で褒賞授与式は中止

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
私立保育園施設整備助成事業	西新井保育園、ナーサリースクールいずみ大谷田及び島根いちい保育園の改築等に伴い、建設費用の助成を行いました。令和3年度中に工事が完了し、令和4年度から新園舎での保育を開始しています。
家庭的保育事業 (事業継続支援事業補助)	受託児が0人の家庭的保育事業者に対し、保育施設の維持管理経費及び保育従事者の人件費の一部補助を実施しました。 ◆補助件数 10月1件、11月1件、12月1件、 1月1件、2月1件、3月1件 ◆補助金額 524千円
子どもへの多様な体験機会の充実	大学と連携し、未就学児、小・中学生と大学生等との交流や学習意欲向上を図る体験活動、高校生以上の方を対象にしたボランティア養成講座を実施しました。 ◆動画放映によるふれあい動物教室(小) 16校 880人参加 ◆Zoom配信による自然体験教室(小) 2校 200人参加 ◆Zoom de 夢の体験教室(小) 5回 延べ196人参加 ◆Zoom de 0からEnglish(小) 1回 58人参加 ◆Zoom de 体験！一日大学生(中) 1回 34人参加 ◆non face to face type のびのびプレイデイ(未) 1回 482人参加 ◆音楽教育支援活動(未・小・中) 42校 4,828人参加 ◆アートボランティア養成講座(高以上) 1回 14人参加 小・中学生を対象に、日本の伝統文化に触れながら、学習意欲向上を図る体験イベントを計画、準備を進めました。 ◆「あだち子ども将棋大会(小)」参加予定者へ参加賞を配布 128人 (新型コロナウイルス感染症の影響で大会は中止) ◆「あだち子ども百人一首大会(小・中)」申込者へ参加賞を配布 (小)199人 (中)100人 (新型コロナウイルス感染症の影響で大会は中止) ◆百人一首の練習用「きまり字かるた」の配布 88校(希望校) 計263セット
家庭教育推進事務	「早寝・早起き・朝ごはん」を推進するとともに、保育園、幼稚園等の保護者の子育て学習、交流等の仲間づくり活動の支援や、毎月の家族ふれあいの日(ふれあい親子入浴・ふれあい親子ボウリング等)の取り組みを行うことで、家庭教育の充実を図りました。 ◆「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダー配布(年間) 162園(区立保育園・こども園、私立保育園、私立幼稚園・こども園、認証保育所) ◆子育て仲間づくり活動(年間) 参加団体 7団体 参加者 494人 ◆家族ふれあいの日 年間利用者 延べ49,615人
発達障がい児支援事業	教育・保育施設等から小学校・中学校までスムーズな情報の引継ぎを目指します。 ◆相談しやすい窓口 ・相談受件数 654件 ◆支援の継続 ・就学移行プログラム試行実施園 1園 小学校は感染症予防対策のため中止 ◆特性に応じた支援の充実 ・未就学機関への訪問支援回数 274回 ・小、中学校への訪問支援回数 8回(小学校4回・中学校4回)

令和3年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内 容
不登校対策支援事業	各学校における不登校児童・生徒への取り組みを支援するため、登校サポーターを派遣し、家庭へのお迎えや学校での別室登校の対応を行いました。 ◆登校サポーター 104人 ◆対象児童・生徒 288人
不登校児童のための家庭学習支援事業	長期欠席状態にある小学生を中心に、家庭への講師派遣やICTを活用した学習支援などを行いました(令和3年度から実施)。 ◆対象児童・生徒 25人
教育相談事業 (「居場所を兼ねた学習支援」と連携した不登校対策事業)	不登校児童・生徒のための居場所を兼ねた支援事業を北部地区に拡大しました。 ◆対象児童・生徒 67人
養育困難改善事業 (児童虐待対策等)	要保護児童の早期発見・支援のネットワーク会議や講座を実施しました。 ◆要保護児童対策地域協議会(地区連絡会議) 534か所送付(書面開催) ◆子育て交流講座(完璧な親なんていない) 参加者 18人 ◆イライラしない子育て講座 参加者 36人
あだち子育て応援隊事業 (産前・産後家事支援事業)	産後1か月までであった利用期間を、産後3か月までに拡充しました。 ◆利用者 109人 ◆利用件数 1,084件